



東京都立高島特別支援学校

創立 50 周年記念式典 校長式辞

今日は東京都立高島特別支援学校の創立 50 周年をお祝いする日です。30 人のお客様が来てくださいました。

心から感謝申し上げます。

後ほど紹介させていただきます。



児童・生徒のみなさん

50 年前、私たちの学校は高島平団地と一緒に誕生しました。

高島平に引っ越してきたおよそ 3 万人の人たちが、仲良く協力しながら街づくりを始めの中で、高島特別支援学校が作られました。

50 年の間の出来事の中から 2 つお話します。

一つは地域の皆さんとのことです。

古い記録の中に開校当時の町会長さんや自治会長さんの言葉が書かれています。当時消防署にお勤めだった方が、毎日登下校の際に消防車を眺めていく子供が気になって車庫の前で待つようにしたところ、いつの間にかお互いが「おはようございます！」と挨拶を交わして心が通じ合うようになったと書いています。ある方は赤塚公園で一生懸命に運動に取り組む様子に励まされて学校を応援したくなったと書いていました。

健康で明るく、意欲をもって努力を続けて、みんなと仲良くすることは、高島特別支援学校の大事な教育目標です。卒業した先輩たちも、みなさんもしっかり取り組んできたことです。

自信をもって続けましょう。

もう一つは交流校とのことです。

板橋区立高島第五小学校は私たちの初めての入学式のために、体育館を貸してくださいました。高島特別支援学校は、開校した時に体育館が出来上がっていませんでした。以来 50 年の交流が続いています。

高島第三小学校との交流は 35 年になります。35 年前の高三小の校長先生が、高島特別支援学校と交流がないことは残念だとお考えになって、交流を受けてくださったと記録にあります。どのような校長先生だったのでしょ。

高島第三中学校との交流は、両校の先生たちが細く長く続けようと誓い合ってから、40 年以上続いています。本校保護者の皆さんが中学校に出向いてお話をする取組みも 35 年以

上続いています。

児童・生徒の皆さん、たくさんの人たちの取組みがつながって、50年の今があるのです。

ご来賓の皆様にお話しします。児童・生徒の皆さんは少し待っていてください。

本校は歴代校長のリーダーシップのもとで関係各所のご協力をいただいて、今では年間300件を超える相談に対応する「特別支援教育センター校」に育ちました。板橋区の特別支援教育推進の施策において、私たちは重要な役割を担う存在になりました。このことは50年の取組みの成果であり、学校の誇りです。

一方、50年の間に本校の学区内に2校の特別支援学校が設置されました。

開校当初は両校共に地域にお住いの皆様から不安や心配の声があがりました。

2校に先んじて、この地に、共生社会を実現する使命を帯びて設置された本校の取組の中に、自覚できなかった課題があったのではないかと内省を続けます。

生き生きとした教育活動をご覧いただける環境になりつつあります。

皆様と顔が見える取組みの促進と、学校の専門性を高めて、蓄えた知識や経験を積極的に発信することに取組んでまいります。これは51年目の学校経営の重点として、共生社会の実現に責任ある役割を果たしていく本校の決意でもあります。

児童・生徒の皆さん、みなさんは、これからも明るく元気に、友達と協力し合いながら、勉強や毎日の課題に取り組んでください。その姿を学校の外に伝えていくことは、私たち教職員の役目です。

今できること、今やるべきことにしっかり取り組むことが、皆さん自身と学校や地域を必ず豊かにします。51年目に向けた約束です。約束できますか。

結びに、本日ご来校いただきました皆様方と、創立以来本校の充実・発展にご尽力いただきました関係の皆様方に、心から感謝と敬意をお伝えし、これからも「子供たちの笑顔のために」ご支援を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。



本日はありがとうございました。

令和6年1月26日
東京都立高島特別支援学校 校長 石川拓